

令和 5 年 月 日

G K P 団体会員 様

下水道広報プラットフォーム会長
長岡 裕

G K P の持続的な活動に向けたご支援のお願い

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は下水道広報プラットフォーム(G K P)の活動に多大なるご支援とご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、G K P は平成 24 年 6 月の創設から 11 年目を迎え、産学官民の壁を超えた連携のもと、下水道展やエコプロなどの展示会やイベント、今話題のマンホールカードに至るまで幅広く下水道の価値を伝える活動を展開してまいりました。これもひとえに皆様方のお力添えの賜物と、心より御礼申し上げます。

今ではG K P の活動によって様々な企画が立ち上がり、学生向けの発信を通じて下水道業界への就職を決めた若者が現れるなど、地道ではありますが目に見える形での成果が現れ始めました。その一方で、活動の規模や範囲が拡大したことにより、G K P は財政的な課題に直面しています。今年度の活動においては実施内容を見直すなど、全プロジェクトを通じて予算を削減しましたが、収入に対して活動費が不足している状況でございます。

私どもは活動 10 年で育てた芽を開花させ、豊かな実りへとつなげるため、引き続き予算の効率化を図りつつ、プロジェクトの推進に必要な予算の確保に努め、活動を継続させていきたい所存です。

つきましては、団体会員の皆様に今後も変わらぬお付き合いをいただきますとともに、大変恐縮ですが、会費の増口についてもご検討を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

記

■年会費の増口をご検討ください。

団体会費（年額）は 1 口当たり 30,000 円となっております。

増口をご検討賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

以上

■ご参考「主要なプロジェクトの成果と将来目標」

1. 下水道を未来につなげる会

活動目的	下水道界のリクルート強化を目的として下水道の魅力を「学生」に発信し、 <u>「未来の下水道パーソン」を発掘</u> する。
現状成果	平成 26 年の活動開始から <u>累計で 約 2,800 人 の学生と交流</u> 。 (令和 5 年 3 月時点) イベントの参加を通じて「下水道を知る、イメージが変わった、こんなことにも貢献しているんだ」と興味を持ってもらえ、進路としての下水道界のイメージUPが図られた。 (<u>イベント満足度 90%以上、下水道界の印象が代わった 90%以上</u>)
将来目標	進路としての下水道界のイメージUP。 <u>たくさんの若者が憧れを持って入ってくる業界に！</u>

2. マンホールカードチーム

活動目的	マンホールカードの発行と普及に伴って形成されている支持基盤（ファン、マスコミ、他業界）とのコラボレーションによって <u>下水道の魅力を「多くの国民」に発信</u> し、さらに <u>マンホールカードの持つ魅力やインフルエンส์効果を使った新たな企画立案</u> を行う。
現状成果	12 月に発行する第 21 弾で 1,000 種を超え、 <u>累計発行枚数は 1,200 万枚に達した</u> 。配布する自治体や団体においても様々な下水道の魅力発信の取組みが行われており、TVや新聞、雑誌、ネット情報でも取り上げられている。
将来目標	マンホールカード（MC）とゲームメディアとのコラボ、企業とのコラボレーションによる MC 展示の拡大、MC を活用した下水道広報のあり方などを自治体に発信、海外に発信するメディアとの連携、関連グッズ開発などでの企業との連携。また、それらのグッズによる <u>下水道の情報発信</u> 。

3. マンホールサミット

4. 東京湾大感謝祭

5. エコプロ

6. GKP 北海道

活動目的	北海道ブロックにおいて、 <u>札幌市や北海道地方下水道協会などと連携し、下水道を広く知ってもらう活動を展開</u> する。
現状成果	下水道事業パネル展の企画・実施などにより、下水道の大切さや仕事の重要性を訴えている。令和 5 年度は『下水道展' 23 札幌』の GKP ブースの企画・実施に協力し、 <u>3000 人以上に訴求</u> した。
将来目標	道民・市民の皆様には下水道の大切さを理解してもらい、 <u>将来を担う人材が多く集まる業界へと発展させる</u> 。

7. GKP 関西

活動目的	<u>関西地方の様々な関係者が連携して下水道広報を活性化していくためのプラットフォームを構築</u> する。
現状成果	<u>GKP 未来会関西の参加メンバーを中心に、昨年度より活動を開始</u> した。令和 5 年 8 月のイベントでは児童を中心に下水道を広報し、「下水道を知るきっかけになった」などの声をいただいた。
将来目標	関西圏の自治体と民間企業が連携した広報活動、情報発信を通じて、 <u>市民への下水道の認知・理解度を高める</u> 。

8. GKP チーム九州

活動目的	<u>下水道の真の価値を広く伝えることにより、活力ある地域づくりに貢献し、九州地域に笑顔と元気をもたらす</u> 。
現状成果	令和元年の設立以来、九州各地で <u>施設見学会、講演会</u> や九州地域の地方自治体と連携して <u>下水道の広報活動を実施</u> した。
将来目標	九州の各地で地方自治体などと連携し、下水道の広報活動を実施するとともに会員の増加及び会員相互の交流を促進し、 <u>九州地域での下水道産業界の活性化を持続させる</u> 。